

本誌108号の「巻頭インタビュー」において、日本の優れた測量調査技術に関する海外への情報発信を当協会にも期待する旨を国土地理院長の村上広史氏が述べられました。この109号は特集「空間情報技術の海外展開」として、会員各社や事務局の取り組みを紹介いたします。

UN-GGIM-AP (国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会) 熊本総会～(公財) 日本測量調査技術協会も支援しオブザーバ参加～

事務局長 津沢 正晴

国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会 (UN-GGIM-AP) 第6回総会が、10月16日 (月) から19日 (木) にかけて、日本の熊本市で開催され、アジア太平洋地域諸国、国連本部等から約80名の出席がありました。

公益財団法人 日本測量調査技術協会 (以下「測技協」) もこれに協賛し、会員会社から約20名のオブザーバ参加と、各社の技術を紹介するパネル展示を行いました。

UN-GGIM-APは、国連 (United Nations) 傘下の委員会のひとつで、1995年に設置され、2012年11月に現行名となりました。アジア太平洋地域56の国・地域における、国土地理院のような地理空間情報を司る国家機関等で構成されており、地理空間情報インフラ整備の推進、関連する政策等に関する情報交換を行う枠組みとして運営されています。日本の国土地理院長が、2015年から会長を務めています。

UN-GGIM-AP総会は、2012年以来これまで5回毎年開催され、今回の熊本総会に至っています。

第6回総会の日程

第1日目 (10月16日 (月)) :

測地基準座標系作業部会ワークショップ

第2日目 (10月17日 (火)) :

総会セッション・開会 (午前)、各WG会合／災害対応での地理空間情報セッション (午後)、レセプション (夜)

第3日目 (10月18日 (水)) :

災害対応での地理空間情報セッション (午前)、総会閉会セッション (WG報告、決議採択) / 理事会会合 (午後)

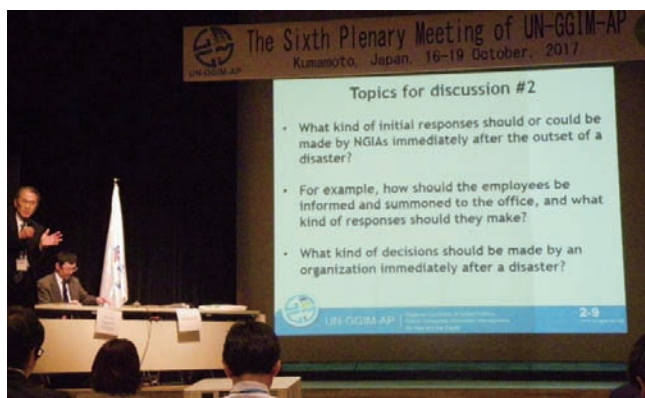
第4日目 (10月19日 (木)) : 現地視察

特別セッション

今回のホスト国である日本の国土地理院が用



熊本市国際交流会館入口の表示



特別セッションでの討議



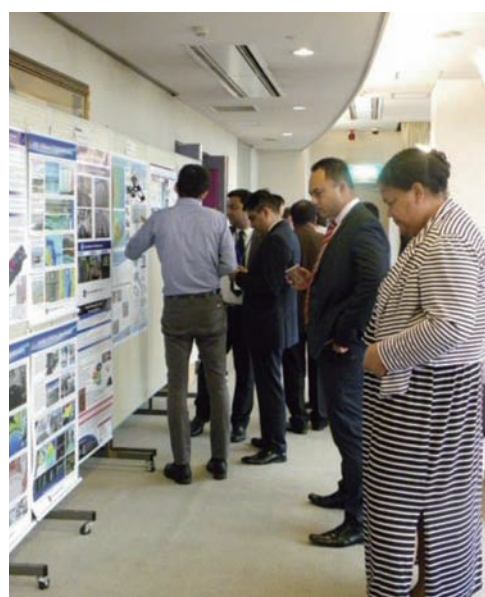
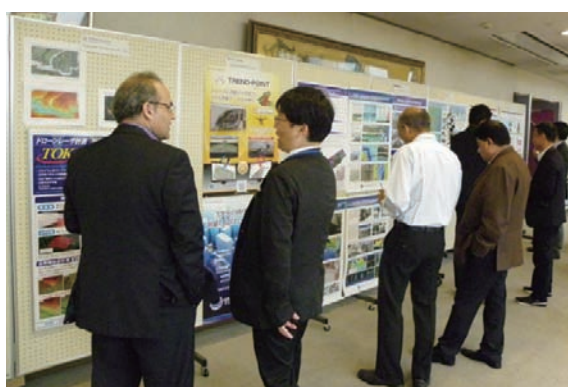
特別セッションで映された緊急撮影のスライド
<https://gsi-intl.github.io/ggim-ap-kumamoto/>から引用

意した特別セッションは、「災害対応での地理空間情報の活用－2016年熊本地震対応の事例－」(Geospatial Information for Disaster Response-Case study on the Disaster Response for Kumamoto Earthquake in April 2016) と題して、自然災害における各国での地理空間情報活用の経験を共有し、今後の課題に関し意見交換等を行いました。

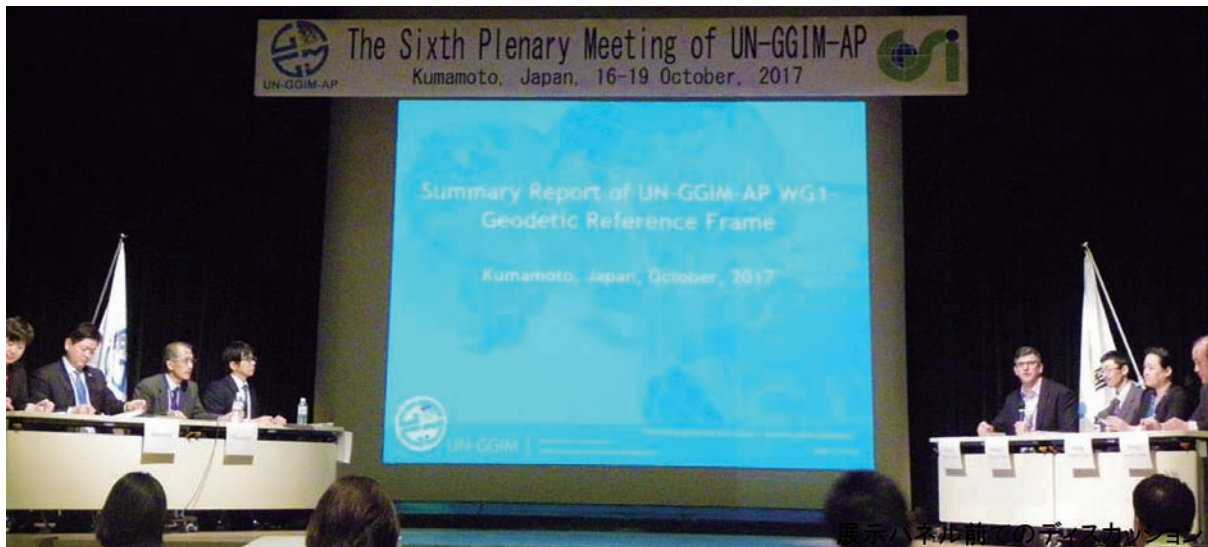
事例とした2016年熊本地震では、4月14日21時過ぎにMj6.5の最初の大きな地震が、約28時

間後の同16日未明にMj7.3の本震が発生し、結果として2段階の緊急対応を余儀なくされました。国土地理院から、熊本地震での災害対応について、平常時、発災時(初動対応、応急対応)、復旧・復興期の時系列に沿った対応をドキュメンタリー風に説明がなされ、セッション座長の村上会長が、段階毎に地理空間情報を司る国家機関としての対応のあり方等について、参加各国に問いかけました。

このセッションでは、国土地理院と測技協と



展示パネル前でのディスカッション



総会閉会セッション

の間で交わした協定にもとづく緊急撮影にも言及があり、測技協会員各社で分担した九州中部の撮影状況の図が、スライドで紹介されました。

総会決議

18日の総会閉会セッションでは、次のような項立てで今回総会の決議が採択されました。

1. 測地基準系
(Geodetic Reference Frame)
2. 災害リスク管理
(Disaster Risk Management)
3. 地域空間データ基盤
(Regional SDI)
4. 地籍・土地の管理
(Cadastre and Land Management)

謝辞

UM-GGIM-AP熊本総会には、協賛いただいた会員各社の中堅技術者の方々を中心に測技協オブザーバとして出席いただきました。セッション間の時間等を利用して各国からの参加者へのパネルの説明やディスカッションなどがなされ、日本の先端測量技術についての情報発信の機会となりました。

協賛いただいた会員各社ならびにオブザーバ参加されたみなさま、そしてこの機会を提供いただいたUN-GGIM-AP熊本総会の事務局(国土地理院)、出席された各国・機関のみなさま、そしてUN-GGIM-APの村上会長に、御礼申し上げます。